

# 田村地方 夜間診療所 開設 だより

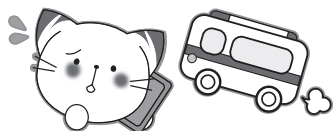
このたび、田村地方に夜間診療所が開設されることになりました。広報おのまち 1月号から4回にわたって、その詳細をお伝えしています。今回はその第4回です。

## その6 これまでの話をまとめると？

診療開始 4月1日(火)から  
 受付時間 午後7時から9時30分まで  
 場所 福祉の森公園  
 田村市船引町字源次郎68-2  
 ☎0247-81-2233  
 Fax0247-73-8841

医師 田村医師会の医師一名が交替で担当  
 診療科 内科、小児科疾患の一次救急に対応

※入院や手術を必要とする二次救急疾患、生命に危険がおよぶような三次救急疾患には対応していません。

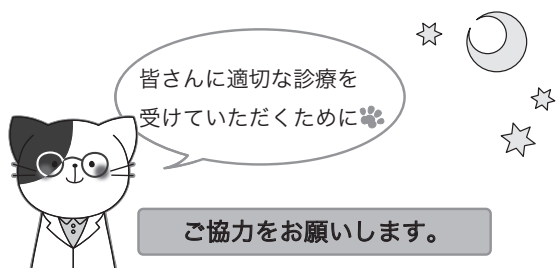


病院搬送までの時間の遅れで予後不良となる疾患は、家庭からの救急搬送が原則です。どうしても良いか分からないときには、まずは電話でご相談ください。

医師会の医師は専門性がさまざまですので、その日の担当医が対応できるか、受診前にお電話でお問合せください。



「目よりも待ち時間が少ないから」「仕事の勤務時間が終わってから」というような理由での受診は慎んでください。



## 今月のおすすめ本 Books

### 「生きてゆく力」

宮尾 登美子 / 著 海竜社 / 刊



著者の宮尾登美子さんは長編小説『櫂』『蔵』『一弦の琴』など女性の生涯を描く作家として大変有名です。本書はその宮尾さんの半生を

エッセイで綴っています。

昭和初期から終戦前後まで、宮尾さんの故郷である高知県が舞台となっています。この幼少期の体験が後に宮尾さんの作品に大きく影響したことがよくわかる一冊です。

### 「まいにちいちねんせい」

ばん ひろこ / 作  
 長谷川 知子 / 絵 ポプラ社 / 刊



たつや君とゆきちゃんは小学1年生。ある日の朝、団地の自転車置き場でたつや君が子猫を見つけました。たつや君はラン

ドセルに子猫を入れて学校へ連れて行きましたがとうとう先生に見つかってしまいました。

小学校に入ったばかりの子どもたちが、毎日进行しながら成長していく姿が微笑ましい一冊です。

(小学校低学年向き)